

## 2 沿岸漁業重要資源調査（2）ソデイカの資源動態調査

担当：前田啓助（増殖推進室）

実施期間：平成5年度～（平成27年度予算額：沿岸漁業重要資源調査9,425千円うちソデイカに関する予算額222千円）

### 1) 目的

近年、本県の夏季～冬季の沿岸漁業を支える重要な資源となっているソデイカについては、その生態学的知見や資源学的知見は非常に少なかった。しかし、2004～06年度に鳥取県、兵庫県、近畿大学、九州大学、水産大学校、日本海区水産研究所との共同研究が実施され、本種の基礎生態に関する情報が収集された。本事業はこれまでに得られた情報と漁期前試験操業によりソデイカの漁況予測を行い、漁業者に対して情報発信することを目的とする。

### 2) 方法

- ・鳥取県漁協賀露本所所属の組合員の漁船を2隻用船し、2015年8月21日に試験操業を実施・試験操業は、樽流しで行い、E丸（沖側）は30樽、H丸（岸側）は27樽を使用した。
- ・操業場所は、表1のとおりである。

表1 2015年ソデイカ漁期前試験操業の操業位置と釣果

月日	使用漁船	漁具数 (樽)	投入			回収				
			水深	緯度	経度	水深	緯度	経度		
8月21日	賀露所属E丸 (岸側)	27	浅	131m	35° 41.053	133° 11.044	→	142m	35° 41.778	134° 17.702
			深	187m	35° 42.522	134° 11.226	→	193m	35° 42.996	134° 16.245
	賀露所属H丸 (沖岸側)	30	浅	218m	35° 43.649	134° 11.017	→	222m	35° 44.322	134° 17.718
			深	245m	35° 45.079	134° 11.168	→	245m	35° 45.601	134° 15.373

### 3) 結果

- ・2015年の漁獲量・金額は、4トン、5百万円で過去20年間で最も少ない値となった（図1）。
- ・ソデイカ漁期前試験操業では、釣獲はなかった。賀露地方卸売市場でのソデイカの初水揚げは9月6日（2014年は8月25日）と遅かった。

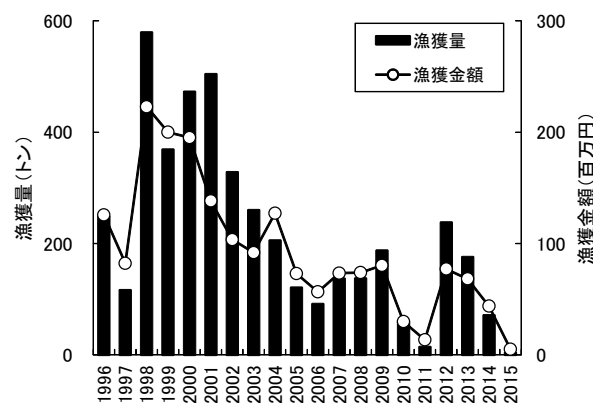


図1 鳥取県のソデイカの漁獲量と金額の推移

### 4) 考察

今期の漁獲量は、図4のとおり92トンと予測をしたが、実績は4トンとほとんど漁獲されなかった（図2）。2012年以降、海水温だけでは、漁況予測が困難となっている。その要因として、従来、対馬暖流が鳥取県鳥取市青谷町（長尾鼻沖）付近で接岸する蛇行が見られていたが、この4年は、かなり東側で蛇行していること、及び2015年は隠岐島西側から沖合へ離岸する流れが非常に卓越していたことから、鳥取沖にソデイカの来遊及び滞留がほとんど無く、漁場形成されなかったことが主な要因と推察された。

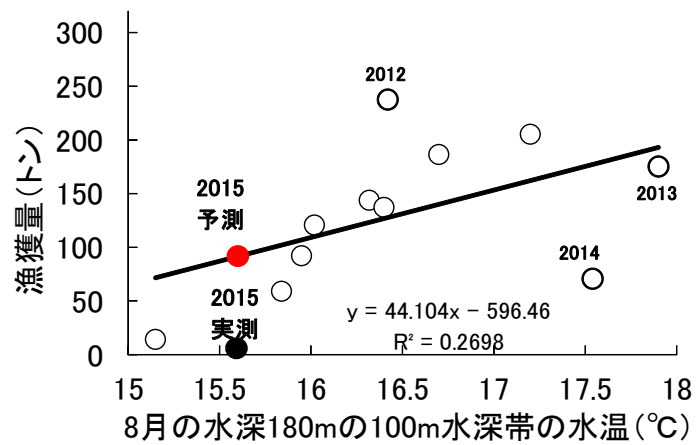


図2 鳥取県中部の8月の水深180m地点の深度100m水温と鳥取県のソデイカの漁獲量

### 5) 残された問題点及び課題

漁獲量予測の精度が低いため、データ蓄積及び予測方法の再検討が必要である。また、漁場が沖合であることもあり、漁況予測を行うことは、沿岸漁業者の省エネ・省コスト型漁業への促進に必要な情報であり、引き続き調査が必要である。